2024年（令和6年）
12月1日号
第36号

# くわな市議会だより

## 令和５年度 決算額 一般会計 596億円！

市のお金の使い方が正しかったのかどうか
議会でしっかり議論しました！！

### 防災無線の改修事業（総務安全委員会）

**デジタル同報系防災行政無線**は、災害時の緊急情報や避難情報、全国瞬時警報システム（Jアラート）からの情報等を迅速に市民の皆様へ伝えるための情報伝達手段の一つ。屋外拡声子局（屋外スピーカー）により、サイレンや音声で情報をお知らせするものです。無線電波の新たな規格への対応等が必要な機器の改修のため 2,964 万が使用されました。

市議会議員：改修でどんな効果があがったの？

市の担当者：**適切な無線電波**の発信ができるようになったほか、新たに気象庁から発表されるようになった**長周期地震動**に対しても防災行政無線により、緊急地震速報の発信ができるようになりました。

### 北勢線への支援（総務安全委員会）

桑名市民の交通を支える事業者の一つである、北勢線を運営する三岐鉄道株式会社に対して、令和５年度、１億 2,328 万円の補助が行われました。

市議会議員：北勢線は市民の足を担う、重要な役割の電車。この**補助額は適切**だったの？

市の担当者：支援金額は、北勢線沿線の市・町と三岐鉄道との協議会で決定しているものです。**現状は適切な額**だと考えていますが、今後の支援の在り方についても、協議会で議論していきたいと考えています。

### 水道の有収率（都市経済委員会）

有収率とは、浄水場や配水場から市内に送り出す給水量に対して、料金など水道局の収入として計上される有収水量の割合のこと。数値が高いほど、効率よく浄水場からお客さまへ水を届けることができていることを示しています。

市議会議員：桑名市の水道の**有収率は 80.01％**という報告だったけど、**どのぐらいの数字が適切**だと認識しているの？

市の担当者：年々、数字が下がってきている状況です。**全国的には90％が平均値**となっており、**桑名市は全国平均を下回っています。**今年度から衛星データを活用し集中的に漏水箇所を見つけて、有収率がこれ以上、下がらないようにしたいと考えています。

### 内水シミュレーション（都市経済委員会）

「内水氾濫」とは・・
下水道等の排水施設の能力を超えた雨が降った時や、雨水の排水先の河川の水位が高くなった時などに、雨水が排水できなくなり浸水する現象。下水道や水路等から雨水があふれだし、浸水被害が発生します。桑名市では、想定最大規模の雨が降った場合にどこがどれぐらい浸水するかの内水のシミュレーションを令和３年度から５年度にかけて行いました。

市議会議員：シミュレーションを行った結果の**成果物**は？

市の担当者：現在、**雨水出水浸水想定区域図**を作成しているところです。今後、それをもとに**浸水対策の総合計画**を作成する予定です。

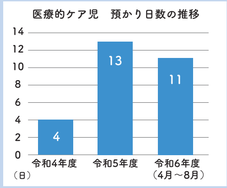
### 医療的ケア児地域生活支援事業（教育福祉委員会）

医療的ケア児の一時預かりを行っている桑名市総合医療センター

医療的ケア児とは、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な子どものこと。保護者は毎日24時間の看護を行わなければならないケースもあり、保護者の疲れ等が危惧されています。令和５年度は、医療的ケア児の宿泊を伴う預かり等の費用として、290万円の予算が計上されていましたが、使用されたのは59万円程度にとどまりました。

市議会議員：**予算が使えなかった理由は何？**

市の担当者：令和5年度は、医療的ケア児の宿泊を伴う預かりの利用回数が6回、合計日数が13日という結果でした。利用者が2名であったこともあり、利用数が伸び悩んでいましたが、令和6年度は利用者数が5名になり、利用回数等も伸びていく傾向が見られています。




市議会議員：市民への**広報**が足りなかったのか、**利便性**に問題があるのか、そのあたりはどう考えているの？

市の担当者：医療的ケア児の保護者の方の中には、小さい頃からずっと自分が面倒を見ているので、**預けることに躊躇される**場合もあります。預かり先である、桑名市総合医療センターの方々の努力もあり、少しずつ安心されて利用数が伸びてきている状況です。

### 福祉なんでも相談（教育福祉委員会）

桑名市では、介護や障害、子育てなど、さまざまな福祉分野の相談に対し、総合的に対応する窓口として、令和2年度から福祉なんでも相談センターを市内3か所（大山田・多度・長島）に設置しています。

市議会議員：福祉なんでも相談に寄せられる相談人数が令和4年度より1,200人ほど増えているようだけど、職員の数を増やすことは考えているの？

市の担当者：令和5年度の相談件数は**21,526件**で、**令和4年の1.26倍**になっています。コロナ禍は電話での相談が多かったが、令和5年度途中からはアウトリーチという形で職員が訪問も再開しており、相談件数の増加につながっているのではないかと思います。今のところ職員の数は足りているので、職員数を増やすことは考えていません。

市議会議員：**ひきこもりの支援**も重要。令和5年の相談実績は？

市の担当者：令和5年度はひきこもりの相談件数は**246件**でした。

## 桑名市こどもの権利条例の制定に向けた取り組み

途中経過

### 子どもの権利に関する団体・有識者からご意見をいただきました

＜意見交換を行った団体＞
- 三重県桑名市私立保育連盟桑名支部
- NPO法人太陽の家
- 市民活動団体CAPみえ
- 市民活動団体声を聴きつなぐ会
- 市民活動団体どんぐりの輪
- NPO法人ネットワークくわっこ
- 北勢会障がい者総合相談支援センターそういん
- みえ市民活動ボランティアセンター
- NPO法人三重県子どもNPOサポートセンター

＜参考人＞
- NPO法人　MCサポートセンターみっくみえ代表　松岡典子氏
- 名古屋市立大学人権文化研究科准教授　谷口由希子氏

### 市民の皆様からのパブリックコメントを募集しました

個人、団体合わせて20件（269項目）のご意見がありました。
今後、委員会にて協議し、回答、修正案については別途ホームページに掲載します。

※パブリックコメントとは公的機関等が命令・規制・基準などを制定・改廃する際に、事前に広く一般から意見を募ること。

貴重なご意見ありがとうございました。
ご意見を参考に条例の制定に向けた取り組んでまいります。

編集／桑名市議会広報広聴委員会
委員長／太田　誠　副委員長／伊藤　知美
委　員／近藤　奈歩、服部　喜幸、森下　幸泰
森　英一、愛敬　重之

議会に興味を持っていただけるよう、「読みたくなる議会だより」を目指し、広報広聴委員会の委員7名で編集をしています。皆様にとって、身近な議会になるよう今後も努力いたします。

お問合せ
桑名市議会
〒511-8601 桑名市中央町二丁目37番地
電話：0594-24-1304　FAX：0594-24-1359
メールアドレス：gikaijm@city.kuwana.lg.jp

桑名市議会ホームページ
桑名市議会インターネット映像配信

〈発行〉桑名市議会　〈編集〉広報広聴委員会

## 総務安全委員会

### 公共交通の課題 桑名市民満足度調査結果

【調査対象者】市内にお住まいの15歳以上の方,3,500人を無作為で抽出
【調査期間】令和3年9月30日(木曜日)～10月18日(月曜日)
【調査方法】郵送による配布・回収及びインターネットによる回答
【回収状況】配布数：3,500件回収数：1,422件回収率：40.6％

■重要度が高い項目TOP7(32項目中)
1位　防災
2位　防犯・交通安全
3位　道路
4位　子ども・子育て支援
**5位　公共交通(電車、バス)**
5位　介護保険・高齢者福祉
5位　行財政改革

■不満度が高い項目TOP7(32項目中)
**1位　公共交通(電車、バス等)**
2位　道路
3位　行財政改革
4位　中心市街地
5位　都市デザイン
6位　プロモーション活動
7位　国内・国際交流

市民からの自由意見
・運転免許を返納後、無免許者が移動しやすい方法を考えてほしい。
・コミュニティバスについて、利用客の利便性を考えてほしい。
　例えば、路線バスと繋がるともう少し利用客増えると思います。

市民満足度調査の結果によると、
公共交通は、重要だと思われているのに市民の不満が高い項目に！
選ばれる桑名市になるため、見直しが必要ではないかと総務安全委員会で調査を行うことになりました！！特に、市が運営するKバス(コミュニティバス)に焦点を当てました。

Kバス(コミュニティバス)の抱える問題点
本数が少ない　乗車時間が長い　他路線への乗り換えが難しい

### 交通 総務安全委員会からの政策提言

**K-バス→デマンドワゴンの切り替えを進めること**

※デマンドワゴンとは・・・
予約制の乗合ワゴン車のことを言います。決まった時間に決まったルートを運行するのではなく、予約が入っている時だけ運行を行う、AIが判断して効率のよいルートを運行する等の特徴があります。

デマンドワゴンのメリット
- 必要な時間に予約できる
- AIが乗車している人にあわせて適切ルート設定をしてくれるので、乗車時間が短くなる
- 不必要な運行をしなくてよいので環境に優しい

デマンドワゴンについては、予約の方法等運用面でまだ課題も！市民に使いやすいものになるよう今後研究を続けながら、切り替えを進めていくよう提言しました。
そのほかに以下のような内容についても提言しました。
- **要配慮者(高齢者・障がい者・妊産婦等) が利用しやすい交通環境を整備すること**
- **地域交通実施者（民間事業者や地域住民等）の運営を支援すること**

## 市の政策をよりよくしたい！
# 市議会→桑名市に政策提言しました！

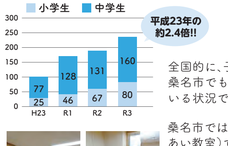
10月2日政策提言の様子

政策提言：市議会では、各委員会の取り組みとして市の政策推進並びに事務事業の執行において参考となるよう提言を行っています。

## 教育福祉委員会

### 学校 子ども一人一人に寄り添った教育とは

■桑名市の不登校の子ども数の推移




全国的に、子どもの不登校が問題になっています。桑名市でも、年々不登校の子どもの数が増えてきている状況です。

桑名市では、桑名市教育支援センター（ふれあい教室）で、心理的・情緒的な理由で長期に学校へ行けない不登校の子どもを対象に、本人・保護者・学校と相談した上で子どもたちの通室を受け入れています。
しかしながら、ふれあい教室にも行けない子どもたちもおり、教育福祉委員会では、現在の対策では十分とは言えないと考えました。

ふれあい教室の一部

■ふれあい教室
通室児童生徒数
※令和６年３月末時点

| 対　象 | 人数 |
|---|---|
| 小学生 | 37 |
| 中学生 | 48 |
| 合　計 | 85 |

教育福祉委員会では、桑名市の課題として、次の２点をあげました。
- **不登校児童・生徒の居場所が十分でないこと**
- **多様な学習機会が十分に確保されていないこと**

### 教育福祉委員会からの政策提言

**不登校の児童・生徒への支援の質・量の充実が必要！**

具体的には・・・

**民間の力を活用！**
支援を充実させるためには、市の力だけでは不十分、民間の力が不可欠！ふれあい教室の民間委託やフリースクールの助成等を行うことで、より充実したサポートが行えるよう提言しました。

**オンラインの活用！**
子どもの中には、教室に通うことが難しい子も。一人一人にあわせた学習の機会を確保するには、オンラインの活用が必須！ICTやメタバースをもっと活用して支援体制を充実させるよう提言しました。

**人員等の体制整備！**
校内支援を各校に委ねている運営方法は、人員不足等の構造的な問題を抱えている。教育委員会と学校が連携し、市全体で取り組む体制の整備をお願いしました。また、誰もが行きたくなるような学校づくりのため、スクールワイドPBSを導入するよう提言しました。

スクールワイドPBSとは
全ての児童・生徒を対象とし、学校全体で取り組むポジティブな行動支援

## 都市経済委員会

### 観光 桑名市の観光を考える

ナガシマスパーランド

ナガシマリゾートは、県内で1位の集客力を持つアミューズメント施設。しかしながら、その集客が市内の観光にはつながっていないのが現状です。桑名市にはたくさんの観光資源があるにも関わらず、集客につながっていないことを問題視し、都市経済委員会として、調査を行うこととなりました。

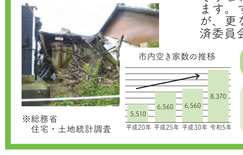
都市経済委員会では、次の2点を課題としてとらえました。
- **桑名市観光振興プランが策定され18年が経過していること**
- **観光客の受入体制が十分に整っていないこと**

### 都市経済委員会からの政策提言

**新しい観光振興計画を策定すること**
一例として、桑名駅から七里の渡跡周辺の水辺空間への回遊性を高められるような計画を作るよう提言しました。

そのほかに以下のような内容についても提言しました
- **受入体制の強化のため桑名駅にトイレとベンチを増やすこと**
- **地域観光の担い手の育成などのほか、観光 DX 導入を検討すること**

### 空家 増える空き家



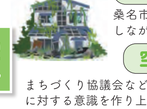
※総務省
住宅・土地統計調査

桑名市内の空き家は年々増加傾向にあります。
空き家は放置すると特定空家等(危険空き家）に！
そうなれば、市民生活に危険が及ぶ可能性もあります。すでに市で様々な取り組みを行っていますが、更なる取り組みが必要ということで、都市経済委員会として、調査を行うこととなりました。

特定空家等とは
建物が倒壊する恐れのある等、危険な状態の空き家

都市経済委員会では、次の2点を課題としました。
- **空き家の流通・活用がされていないこと**
- **空き家にならないようにする対策が十分でないこと**

### 都市経済委員会からの政策提言



**空き家をもっと流通、活用すること**
桑名市の空き家バンクの登録件数は圧倒的に少ない状況。民間事業者と協力しながら、行政として特色をだした物件案内をするよう提言しました。

**空き家にならないよう予防すること**
まちづくり協議会などの地域の集まりにおいて空き家対策の啓発を行うなど、市民が空き家に対する意識を作り上げられるような活動を行うよう提言しました。